FM FUKUOKA

HOMEへ戻る

2014年4月アーカイブ

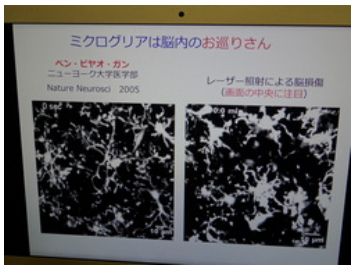
★九州世界一ラボ・レポート（4）

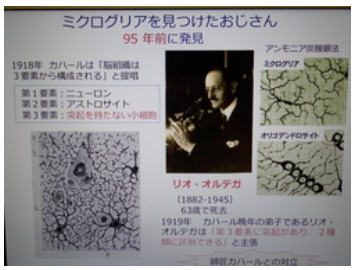
Site Staff (2014年4月26日 21:00)

【脳博士】
九州大学 大学院歯科研究員 中西博 博士

脳の細胞『ミクログリア』が中枢ニューロン活動の日内リズムに関与していることを解明。
この研究成果は、これまでは全く不明だった正常な脳内におけるミクログリア機能についての
世界初の報告で、ニューロンのシナプス活動（＊1）の
日内変化の形成メカニズムを理解するうえで新たな見解となりました。

＊1.シナプス
　神経細胞間などに形成されるシグナル伝達などの神経活動に関わる
　接合部分位とその構造のこと。





最新の記事

- ★九州世界一ラボ・レポート（4）
- ★九州世界一ラボ・レポート（3）
- ★九州世界一ラボ・レポート（2）
- ★九州世界一ラボ・レポート (1)

月別アーカイブ

閲覧したい月を選択してください

このブログを購読

とても難しい内容ですが
博士がわかりやすくまとめた資料を使いながら説明してくださいました。

それでも難しい内容で混乱中（笑）

ミクログリアは脳内のいらないモノを切ってくれるものでいわば**庭師**のようなもの！！
幼児期にミクログリアがいらないモノを切り、いるモノをつなげてくれることによって
コミュニケーション能力がつくそうです！

そして、もう一つ！！
博士たちが発見したミクログリアは脳内の**リセッター**という役割を果たしていること。
ミクログリアによるスパイン退縮（＊2）はシナプスのリセットに必要で
脳の情報処理システムがダウンしないよう寝ている間にリセットしてくれているそうです！！

ミクログリアはとても大切なものなんですね！！！

＊2.スパイン
　神経細胞の樹状突起から突き出ている小区画。
　脳のほとんどの興奮性シナプスの入力を受け入れているトゲ状のもの。

もともとニューロンの研究をしていた博士。
その研究中、ニューロンとの結びつきが強く、謎の多いミクログリアに興味をもって
ミクログリアの研究を始めたそうです。

博士にとってミクログリア研究は
『メイン（ニューロン）ではなく脇道（ミクログリア）。とても面白い研究です。』
とおっしゃっていました。

今日の研究成果は『脇道はメインストリートより広がるかもしれない』。

メインストリートではなく少し視点をずらして
脇道に興味をもってみることも大事なことかもしれません(*^^*)

今回は難しい内容で脳が鍛えられた気がします・・・（笑）

★九州世界一ラボ・レポート（3）

Site Staff (2014年4月19日 21:00)

【忍者博士】
剣源蔵 博士